

硯石



今回の伝説・伝承をたずねる旅の中で、まったく予想もしていない出来事の一つが、この親鸞聖人の硯石の伝説であった。今は伝える方は亡くなられたが、渋川正蓮寺の前住職、前橋の前々住職が、この硯石をたずねておられたということである。

赤城山の噴火の流石で出来たとと言われる「硯石」は、赤城山の中ごろ、前橋赤城線4号県道を登る、

渋川・大間々線4号県道353国道(赤城南面道路と通称言われている)、そのもう一段上の「赤城南麓広域農道」通称「からっ風街道」と言われている道筋にある。

伝説・伝承として、渋川市教育委員会でも認めていることである。

からっ風街道



硯石・石碑

